

食生活を豊かに——
円滑な流通供給に努める

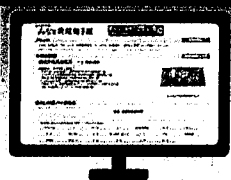
丸水秋田中央水産株式会社

〒010-0802 秋田市外旭川字待合28番地
電話 018-869-5311(番代)
FAX 018-868-1931
http://www.marusui-akita.co.jp/
e-mail:a.soumu@marusui-akita.co.jp

10日間!! 無料

EXPRESS

みなと新聞
電子版



モズクメーカー苦境

モズク製品メーカーが沖繩本モズクの2年連続の不漁に加え、原簿価格の上昇、安く抑えられた量販店の販売価格の三重苦に苦しんでいる。産地の主要漁協の多くは今年の生産量を「前年並みに持ち直し」と予測する半面、「規格外が多く、漁協の集荷量は逆に大きく減ったため、メーカーからの受注量を供給できない現状に頭を抱える。



原料不足・高値、製品安

沖繩規格外多く漁協扱い大幅減

沖繩本モズクの今年の最終生産量は、前年から大幅に減るとしていた3月末予想から5月の好天などでやや持ち直し、一部の産地では急きよ7月末まで漁期を延長する地区も出てきた。本紙推定の沖繩県内生産量は前年並みの可能性が高い。

漁協担当者は持ち直し、多くは漁協を通じた原料と見通している。販売好調も、3連カップを100円弱で販売する店もある。メーカーの担当者は量販店の販売状況を「二期の鶏卵のような格安の期の特売が常態化」

「原簿価格の上昇に加え、圧倒的に量が足りない。一方、量販店の売価は思わぬほど低価格で、うよよに上がらない」。福岡メーカーのモズク調達担当者は、メーカー差があるものの現状、前年から5割減。最終的に少な

「原簿価格の上昇に加え、圧倒的に量が足りない。一方、量販店の売価は思わぬほど低価格で、うよよに上がらない」。福岡メーカーのモズク調達担当者は、メーカー差があるものの現状、前年から5割減。最終的に少な

「原簿価格の上昇に加え、圧倒的に量が足りない。一方、量販店の売価は思わぬほど低価格で、うよよに上がらない」。福岡メーカーのモズク調達担当者は、メーカー差があるものの現状、前年から5割減。最終的に少な

「原簿価格の上昇に加え、圧倒的に量が足りない。一方、量販店の売価は思わぬほど低価格で、うよよに上がらない」。福岡メーカーのモズク調達担当者は、メーカー差があるものの現状、前年から5割減。最終的に少な



沖繩本モズクの収穫

原料状況などを理解して、お願ひする予定」と強調する。九州支社・近藤芳樹